

生活科学系コンソーシアム会議（第4回）議事録

日時：平成20年5月19日（水） 13:00～15:00

場所：日本学術会議5-A会議室（1）

出席者：

コンソーシアム構成6学会より6名

国際服飾学会（田中俊子）

日本家政学会（佐々井啓）

日本家庭科教育学会（大竹美登利）

日本消費者教育学会（天野晴子）

日本食生活学会（菅原龍幸）

日本調理科学会（長尾慶子）

（敬称略）

日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活科学分科会委員 7名

沖田富美子、春日文子、片山倫子、渋川祥子、白澤政和、塚原典子、西島基弘

（敬称略、五十音順）

事務局：渡邊（敬称略）

資料：生活科学系コンソーシアム会議（第3回）議事録案

生活科学分科会（第20期）第12回議事録（公開用）案

生活科学系コンソーシアム構成学会および生活科学分科会委員名簿

構成学会平成20年度行事予定

生活科学分科会シンポジウム（7/5開催）ちらし

分担金に関する申し合わせ

本年度予算案

ホームページ関係（内容案）

議事内容

1. 前回議事録の確認（渋川会長）

前回議事録について承認された。

2. 今後の活動について

1) 7/5開催、生活科学分科会主催シンポジウムの共催となる。

- ・構成学会会員への広報状況

家政学会（HP）、調理科学会（学会誌）、家庭科教育学会（ニューズター、メールマガジン）などに掲載済みであるとの報告があった。

- ・5、6月に開催される下記の学会でちらし配布予定

家政学会、家庭科教育学会、消費者教育学会、国際服飾学会

2) 6/1開催の家政学会シンポジウム「生活と環境-日本における再考-」の後援→共催とすることが承認された。

3) 後援、共催について

- ・学会間の横の情報提供および連携など、団体の周知のためにも今後、後援・共催を活用していく方向となる。
- ・ただし、共催の場合、内容を審議する必要があるため、早めに書類を提出し、メールでの持ち回り審議で決定することとする。
- ・後援は、各学会より申込みがあれば認めることとする。
- ・各学会からの後援、共催の申請に関しては、早急にコンソーシアムとしての書式を

作成することになった。

3. 平成 20 年度予算案について

渋川会長より予算案の説明があり、概ね了承された。

- ・ 7/5 開催の分科会主催シンポジウム経費に関しては、演者へ資料代として 5,000 円、福井大学の荒井先生の交通費は実費を支払い、講演料は支給しないことに決定。
- ・ シンポジウム記録に関しては、演者へレジュメおよび資料の提供を依頼し、PDF 化して閲覧可能とすることの了解を得ることになった。

4. 総会について

1)日時；7月5日（土）11:30～12:30

2)会場；日本学術会議 1F 講堂（予定）

3)出席者；各学会会長（又は代理）および連絡担当者の2名、日本学術会議生活科学分科会委員

4)議事；活動報告、前年度決算、今年度予算（案）、今年度活動計画など

* 渋川会長より、特に活動計画について各学会より提案して頂きたい旨の依頼があった。

* 総会のお知らせは、コンソーシアム事務局からメールにて配信することになった。

5. コンソーシアムHPについて

渋川会長よりHP内容について説明があり、それを受けて下記のような事項の決定および提案がなされた。

1)今後のHP内容の更新、書き換えに関して；

書き換えがスムーズにできるオプション費用として20万円かかるため、今のところ、その都度依頼することになった。（1頁5～7千円）

2)提案

- ・ HPの全容がわかるようなアイコンをトップページに作って欲しい。
- ・ コンソーシアムでどのようなことを活動しているかはっきり明記すべきであるなど。
- ・ 生活科学分科会の活動内容（議事録、対外報告など）の掲載

6. その他

1)分担金に関する申し合わせについて；了承された。

2)年会費について；会費納入依頼書を送付することになった。

3)名簿の訂正について；名簿の訂正の有無の確認があった。

4)7/5開催のシンポジウムについて；学術会議HPに掲載予定であるとの報告があった。

以上